

映画会



「きみはいい子」を上映

内容・おもてなしとも最高でした

5月29日(日)の午後1時より岩村公民館主催の映画会が岩村ふれあいセンターで、いま話題の「きみはいい子」が上映されました。中脇初枝の同名短編小説が映画化されたもので、児童虐待をメインテーマに、「虐待」「いじめ」「認知症」など現代社会の問題点を、どこにもある町、どこにでもいる人たちの話として、窓から富士山が見えるという40周年近くの桜ヶ丘小学校で、パンダ



映画の1シーンです

公園と呼ばれる鳥ヶ谷公園のある「桜ヶ丘」の町で「虐待主婦雅美」「新米教師岡野」「認知症の老人あきこ」3人のエピソードが同時進行する映画でした。見終わったあと、きつと誰かを抱きしめたくなるという、キャッチフレーズ通りの素晴らしい映画だったと思います。特に虐待される側だけでなく、虐待する側の心の問題にもスポットをあてて、丁寧に描いたことも注目される一つと言われています。

今回も、会場の両サイドには暗幕がはられて、画面が見やすく工夫されており、音も天井スピーカーから響き渡り、まるで映画館にいるような臨場感がありました。なお、会場には、コーヒーマシーンも準備されており、参加した約40名は、映画内容に、おもてなしに大満足でした。

(編集部)

公民館及び関連行事のお知らせ

- 7月2日(土) 七夕まつり
- 8月 世代交流会
- 9月 岩村ふれあい祭り・敬老会

28年度事業計画が決定 豊かな福祉の岩村をめざして



岩村社協 入交 満氏が 会長2年目に挑む

4月28日(木)、28年度第1回の岩村地区社会福祉協議会が開催されました。今回初めて、南国市社会福祉協議会から、川竹次長・中本主事にもご参加いただき、活発な討論が交わされました。

この中で、27年度事業報告、決算報告がされ、28年度事業計画、予算案も承認されました。事業計画の中でも、「岩村地区敬老会」が大きな事業の一つです。

また、高齢化する岩村地区を、2年目となる入交満会長は「安心して生活できる豊かな福祉の岩村を目指して頑張っていきたいと思います」と決意を語られました。

新役員の方皆さん(敬称略)

会長・入交 満 (包末)
副会長・栗山 武大 (堀の内)

- 会計・大島 正興 (蔵福寺島)
- 監事・中尾 武夫 (金地)
- 監事・久保田将史 (福船)
- 委員・千光士 一 (包末)
- 委員・耕崎眞里子 (包末)
- 委員・元吉ゆみ子 (包末)
- 委員・植松 妙 (包末)
- 委員・入交 育子 (包末)
- 委員・広瀬 隆 (包末)
- 委員・北岡 淳 (堀の内)
- 委員・岡崎 桃子 (堀の内)
- 委員・岡崎 佳代 (堀の内)
- 委員・松下 充夫 (堀の内)
- 委員・中尾 香代 (金地)
- 委員・山本眞喜子 (金地)
- 委員・浜田 純子 (金地)
- 委員・和田 真一 (福船)
- 委員・和田日出美 (福船)
- 委員・岡崎 純男 (福船)
- 委員・有瀬 真理 (福船)
- 委員・大島 章伸 (福船)
- 委員・山崎 由紀 (蔵福寺島)
- 委員・大島 貴子 (蔵福寺島)
- 館長・島崎 宏明 (金地)
- 運審・田所 秀二 (福船)

事業計画

(以上27名・敬称略)



委員会開催・4月、8月、9月
独居高齢者へのヤクルト訪問 (毎月10日)
社協会費集金(5~6月)
岩村地区敬老会の開催(9月)
赤い羽根共同募金(10月)
歳末助け合い募金(12月)
この日、同時に28年度「日本赤十字社岩村分区分・分団」事業計画、収支計画も発表され、日赤岩村分区分・分団長に中尾武夫さん(金地)が紹介されました。